

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

＜本年度の目標＞

- ・学校のことを知り、基本方針についての理解を深め、思いを共有していきたい。
- ・学校と連絡を密にとり、活動につなげたい。
- ・地域とともにある学校について周知し、学校、家庭、地域で助け合って一緒に子どもを見て見守ってきたい。
- ・朝食やネットの問題等、学校からの問題提起に対して協議していきたい。
- ・学校評価をもとに、よりよい学校づくりのために何ができるか話し合い、丁寧に進めていきたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長より、学校運営の基本方針について説明を受けた。目指す子ども像や身につけさせたい力の具現への道筋、学年団を軸としたカリキュラムマネジメント等、資料を基に具体的な方針が説明され、職員が一丸となって子どもたちによりよい教育活動の提供ができるよう取り組んでいることが理解できた。
- 委員からも、育てたい力について貴重な意見が出され、運営協議会としてどのような活動をしていくか、昨年度より深い話し合いができた。
- 時間の限られた中での話し合いで、十分な熟議までに至ることができなかった。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 保護者や地域人材の活用について、昨年の成果を基に、今後どのように充実させていくかコーディネータを中心に熟議を進めることができた。また、ボランティアの募集から振り分け、とりまとめなど、年間を通して多くの活動を行っていることがよく理解できた。
- 学年のカリキュラムマネジメントや子どもの様子について、担当している先生方と直接話し合う機会が持て、学年ごとの特徴や成長の違いなどを知ることができた。また、教員と委員の意思疎通が深まった。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 協議委員会議事録をホームページに掲載したり、C Sだよりに掲載したりして活動や子どもたちの様子を知らせた。
- P T A理事会などで協議内容の共有を図り、家庭での過ごし方について考えてもらう機会を作った。
- 子どもたちの現状や課題の解決への手がかりになる講演会を設定し、保護者に出席していただくよう案内を出すなど、家庭との連携を深めるよう努めた。
- 全ての家庭の協力を得ることは難しいことだけれど、積極的発信に努めたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 学校運営の基本方針について理解を深めるとともに、連携をして活動をしていく。
- 学校、家庭、地域の役割についてもう一度見直すとともに、保護者や地域の協力体制や教育力を高めるような対策を考えていく。
- 引き続き「ネットへの向き合い方」「読書に親しむ子」について、委員会としてできることを考えていくとともに、子どもたちの様子や学校評価から見える課題について、重点を決めて話し合い、対策を練っていく。